

自己評価結果公表シート

春日丘幼稚園

1、本園の教育目標

幼児期の子どもたちにとって理想的な生活の場(環境)を与えることを教育の理念とする。
幼児期は、見ること聞くこと体験することすべてを吸収し、人間の一生の中で最も成長する時です。遊びや体験を通して友達をつくりたくましい体と豊かな心を育てる。
幼児は遊びからいろいろな事を学びます。大きくなってからの学習とは違いこの時期でなければ出来ない楽しい経験を満足させ子どもの欲求を満たす。
自立に向かって歩みはじめる時で遊びの中で自ら考え試しながらどんな事も自分でやってみようとする意欲を育てる。
生きる力の基礎となる心情を培い自分の命他者の命を大切にし、自分中心ではなく協調性をもって人と関わられることを念頭においた教育課程の構成を重視する。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

体力の向上を図る。幼児期は歩く・走る・跳ぶ・投げる等の基本的な動きが著しく発達する時期であり、体力や運動能力の発達を促す。心身共に豊かで健康的な体力づくりを目指す。
食育指導は継続して行っている所以子どもの意識も高まっている。朝ごはんを食べる、よくかんで食べる、野菜を食べる等の意欲がみられる。
新教育要領に沿って、知・徳・体を通して生きる力を身につける。
危機管理マニュアルの見直しをし、危機管理意識を高める。
預かり保育の充実 二学期よりスマイルチャイルド事業実施により時間拡大となる。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
新教育要領に沿って日常の保育、行事のあり方について考え、幼児教育の基本を見つめ直す。	新教育要領の施行により変わるもの、原点にもどり引き継がれていくものをしっかり共通理解した上で、月単位・学期単位の保育について園独自のカラーを示していけるようにする。
環境構成についてより深く幼児の思いに沿って充実していけるようにする。	幼児の主体的な活動を生み出す環境作りを工夫し、発達のねらいに沿って考え、豊かな経験を広げて積み重ねていく。
園評価について保護者へのアンケートを実施し、保護者の声を知る。	アンケート結果を項目ごとに公表し、意見・苦情について回答する。保護者の満足度を高めると共に職員の保育意識も高めていく。

<p>危機管理マニュアル作成と火災、防犯、防災訓練を重視する。</p>	<p>以前不審者の対応について危機管理マニュアルや連絡体制について作成していたが、今回の東日本大震災の教訓から現状に合わせた危機管理体制を確立する。 一学期に防災訓練を実施した。</p>
-------------------------------------	---

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>学年ごとの目標、園全体の目標をうちたてて自己評価し、取り組み内容に沿って意見交換し、実践結果に合わせて方針を明確に確立することが出来た。</p>

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>保護者の子育て意識について連携を高める。</p>	<p>幼児期の教育の重要性について家庭での教育力を高め、子どもと向き合う時間を有効なものにし、一人ひとりの心身の成長を共通理解して双方の願いが実現していけるよう連携を大切にする。</p>
<p>スマイルチャイルド事業実施</p>	<p>子育て支援の一環として二学期よりスマイルチャイルド事業計画を実施する。 11時間開演については早朝保育7:30より夕方6:30までとする。</p>
<p>子育て支援の充実をはかる。 未就幼児と乳児対象</p>	<p>未就園児対象の園庭解放やホール体育あそび等の内容を充実させ、未就園親子が安心して遊びを楽しめる場を提供する。 乳児のベビーサークルを通し乳児を持つ親同士が気軽に集まれる場をつくり、育児ストレスからの解放や子育て相談に対応し、ゆとりのある子育てにつなげていく。</p>

6、財務状況

<p>法人及び施設の経営状況については、監事・公認会計士により適正に運営されていると認められている。</p>
--